

## 3S活動（あるべきシートの運用）

取り組み開始：2019年5月～

### 【目的】

3S・3定を定着させることで、ムダがなく、**「安全・安心」**に働くことができる職場作りを実現する。

言葉の意味：3S・・・整理・整頓・清掃

3定・・・定置（決まった位置に）・定物（決まった物を）・定量（決まった量だけ）置くこと

### 【手段】

## あるべきシートの作成

**・・・あるべきシートとは、あるべき状態を「いつでも・誰でも」見て「確認・維持」するためのもの**

### （手順）

本部側で、決定したテーマについて、店舗ごとに、3定（定置、定物、定量）を決定

↓

あるべき状態の写真を撮り、あるべきシートへ添付

↓

あるべきシートを印刷し、該当の場所へ掲示（誰もが見やすい箇所へ掲示）及びファイリング

↓

本部巡回者が、定着状況をチェックし、店舗へフィードバック

↓

店舗は、内容を確認し、修正、維持



**「あるべきシート」を作成し、**

**各テーマごとに、あるべき状態を「可視化」することで、定着を図る。**

## ■ あるべきシートの作成（各テーマごとに店舗で作成し、掲示）

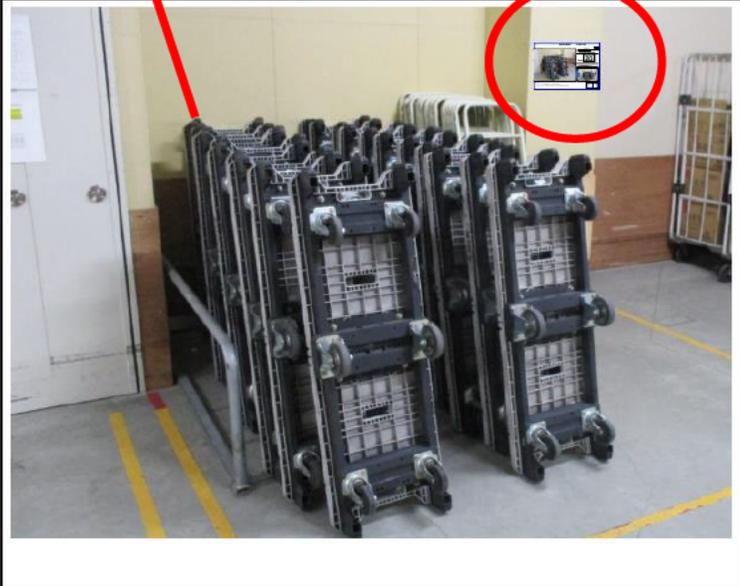
3定、決定したら、あるべき状態にして  
撮影をし、あるべきシートへ添付

完成したあるべきシートを  
見やすい場所へ掲示

『 長台車 置き場 』のあるべき姿

〇〇〇店

●あるべき姿 (After)



●あるべき姿「3定ルール」

場所の明確化

①定置 保管範囲を明確にする(ラインを引く)  
場所: 事務所前

置くものを明確化

②定物 長台車本体とハンドルのみ

保管する量を明確化

③定量 長台車の保管台数を明記

保管台数 **20** 台

④ Before・Afterで良い状態を明確に

●昔の姿 (Before)



【注意事項】

- ・バックヤードの主導線を遮るような保管方法は禁止
- ・誰が見てもわかるように備品の画像・名称・保管台数は指定場所に明記

※この「あるべき姿」は上記写真現場へ掲示してください。

責任者	店長

3定（定置、定物、定量）

置く場所、道具、台数の決定し、記入





# 3S活動（あるべきシートの運用）

## 実際の店舗での取り組み状況（抜粋）

フォークリフト充電器



あるべきシート



ラクサー置場



あるべきシート



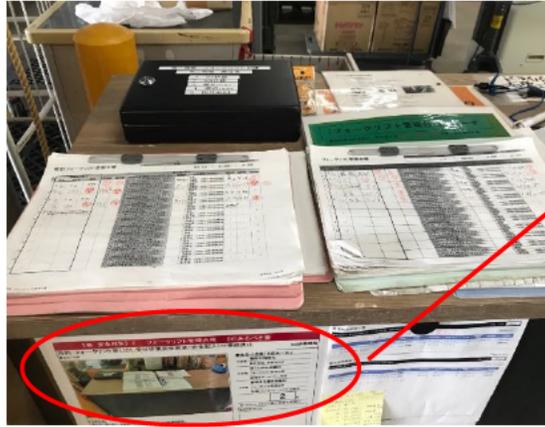
長台車置場



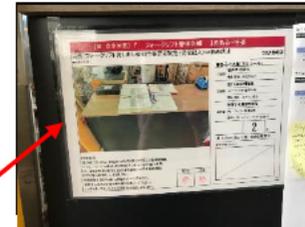
あるべきシート



フォークリフト管理台帳



あるべきシート



## 3S活動（あるべきシートの運用）

# 実際の店舗での取り組み状況（抜粋）

フォークリフト置場  
・・・定位置管理



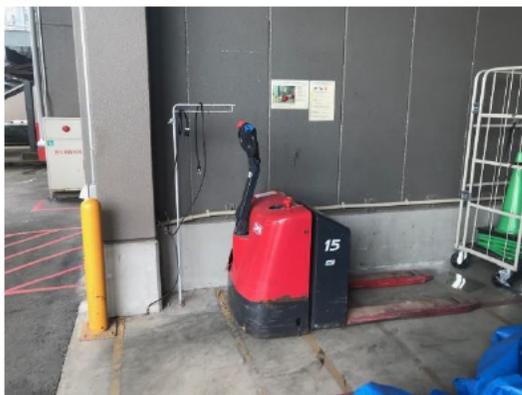
バックルーム高さ制限  
・・・積みすぎによる落下防止



脚立置場  
・・・定位置管理、ヘルメットの設置



電動ハンドフォーク置場  
・・・定位置管理



非常口  
・・・周辺に障害物を置かない



消火栓  
・・・周辺に障害物を置かない

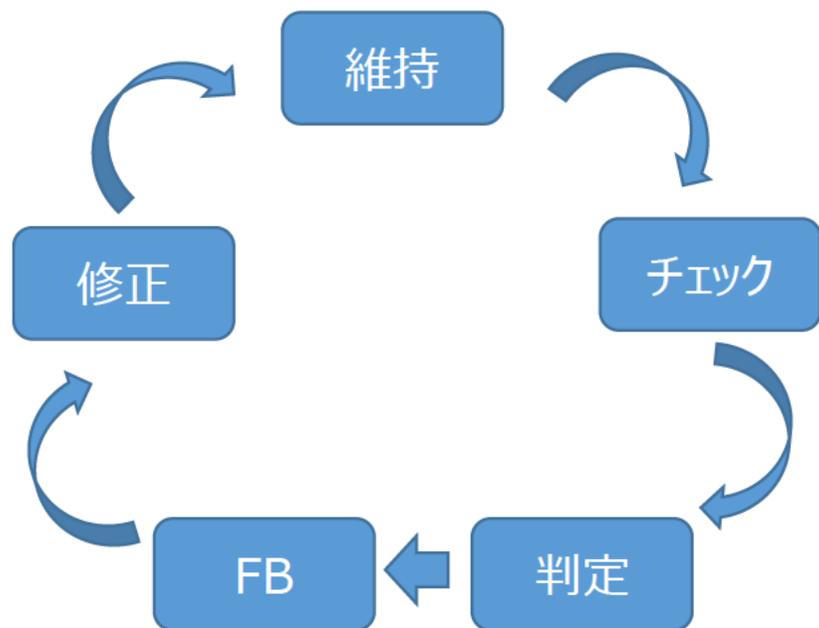


## ・定着チェック⇒修正⇒維持 の活動について

・Web上で、確認ができるチェックリストを作成し、I-PAD 又は 携帯を活用し、  
チェックを実施。

⇒チェック実施後のデータをもとに、フィードバックを実施。

【定着のサイクル】



【巡回メンバー定着チェックWeb画面】

3

1、バックルームでの在庫管理  
⇒2列目以降の商品が取り出しやすい・不良在庫の見える化\*

バックルームでの在庫管理（2列目以降の商品が取り出しやすい・不良在庫の見える化）



★2列目以降の商品が取り出しやすい状態になっていれば「○」

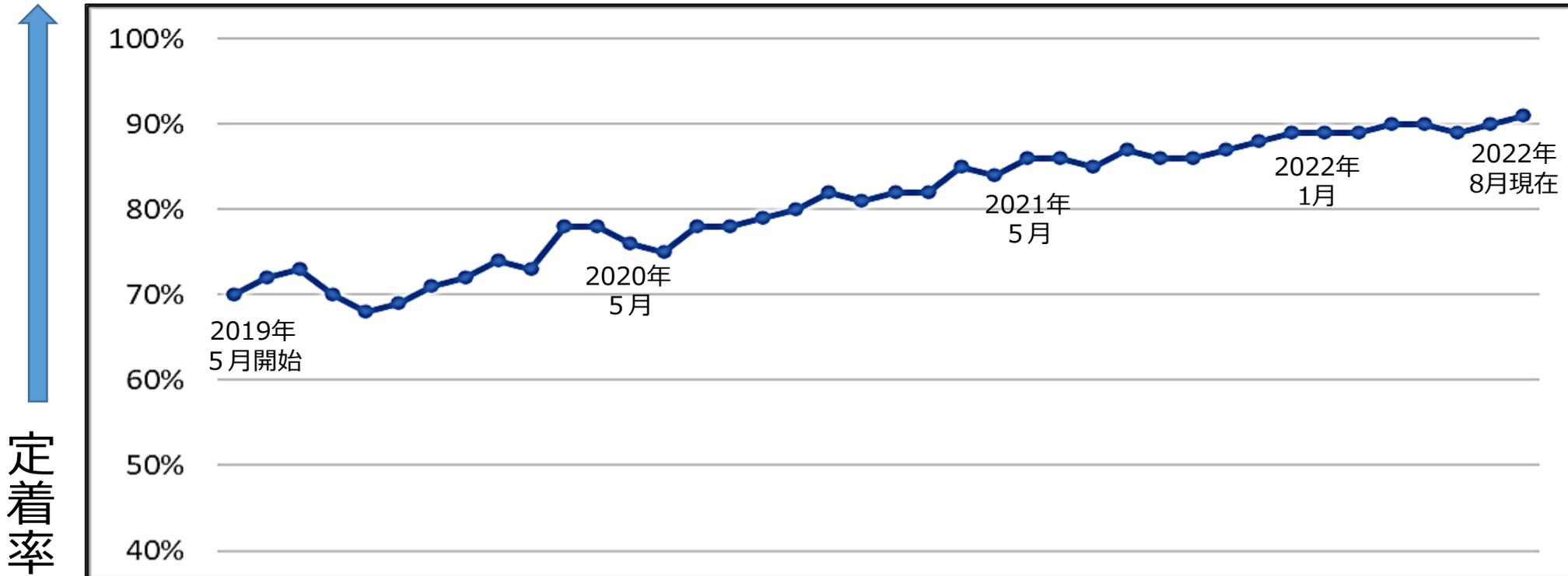
・・・（例）2列目・3列目が同一商品 など

※パレット管理が、1列でも2列でも取り出しやすい状態であれば「○」です。

・・・2列にすることで、在庫スペースや通路幅確保など工夫している店舗もあるため

## 3S活動（あるべきシートの運用）

あるべきシートの定着率（全社平均）



⇒2019年5月の開始当初の定着率は、70%前後で推移。

その後は、定着率が下がってしまう月はあったものの、徐々に上昇。

今年（2022年）に入った頃には、90%近くまで上昇し、2022年8月現在は、定着率90%台をキープできている状況となっている。